

資料1 - 1 気候の概要

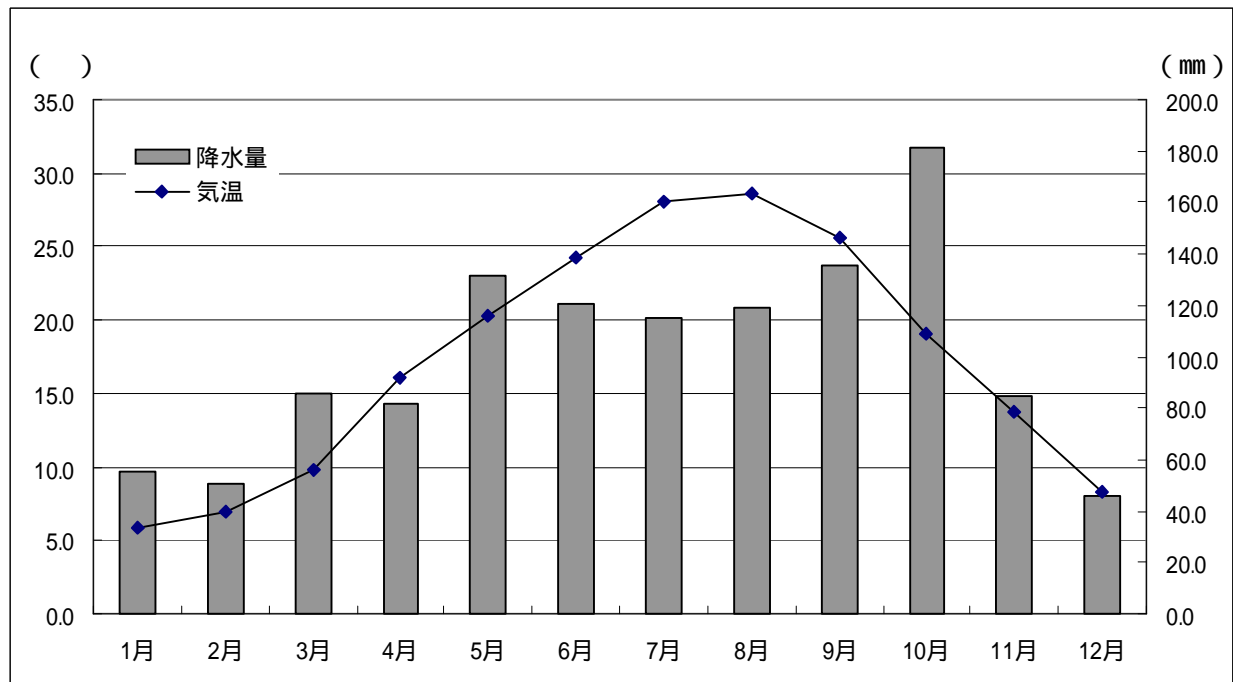
< 気候の概要 >

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均値
気温(°C)	5.9	6.9	9.8	16.1	20.3	24.2	28.1	28.6	25.5	19.1	13.7	8.3	17.2
降水量(mm)	54.9	50.5	85.5	81.5	131.2	120.5	114.8	119.2	135.6	181.2	84.9	45.7	1205.5

注) 表中の値は、月別平均値(H13~H17)とする。

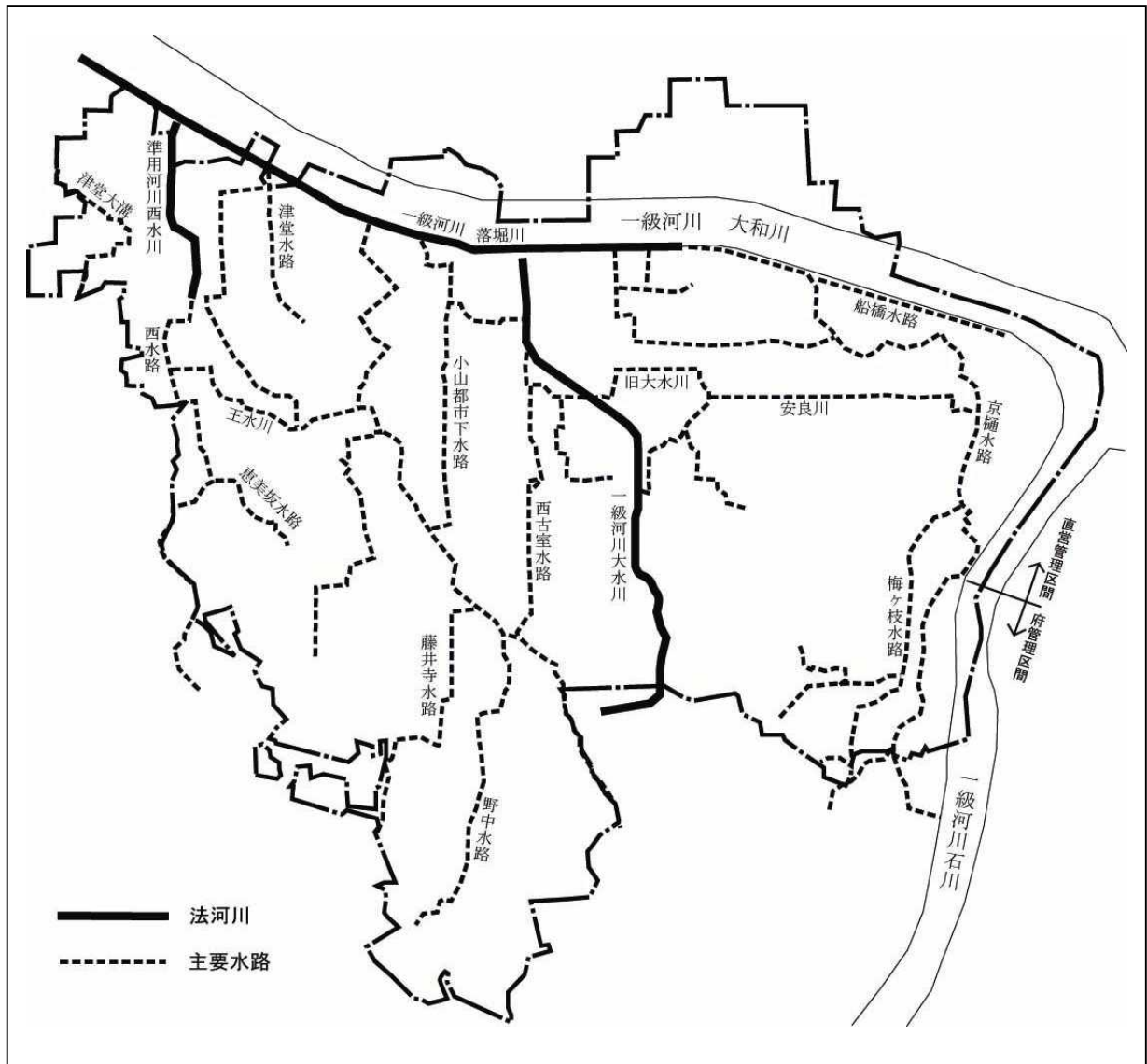
大阪管区气象台(大阪市中央区大手前4-1-7)での観測値

出典: 気象年報(大阪管区气象台)



< 気候の概要 (H13 - H18年の月平均値) >

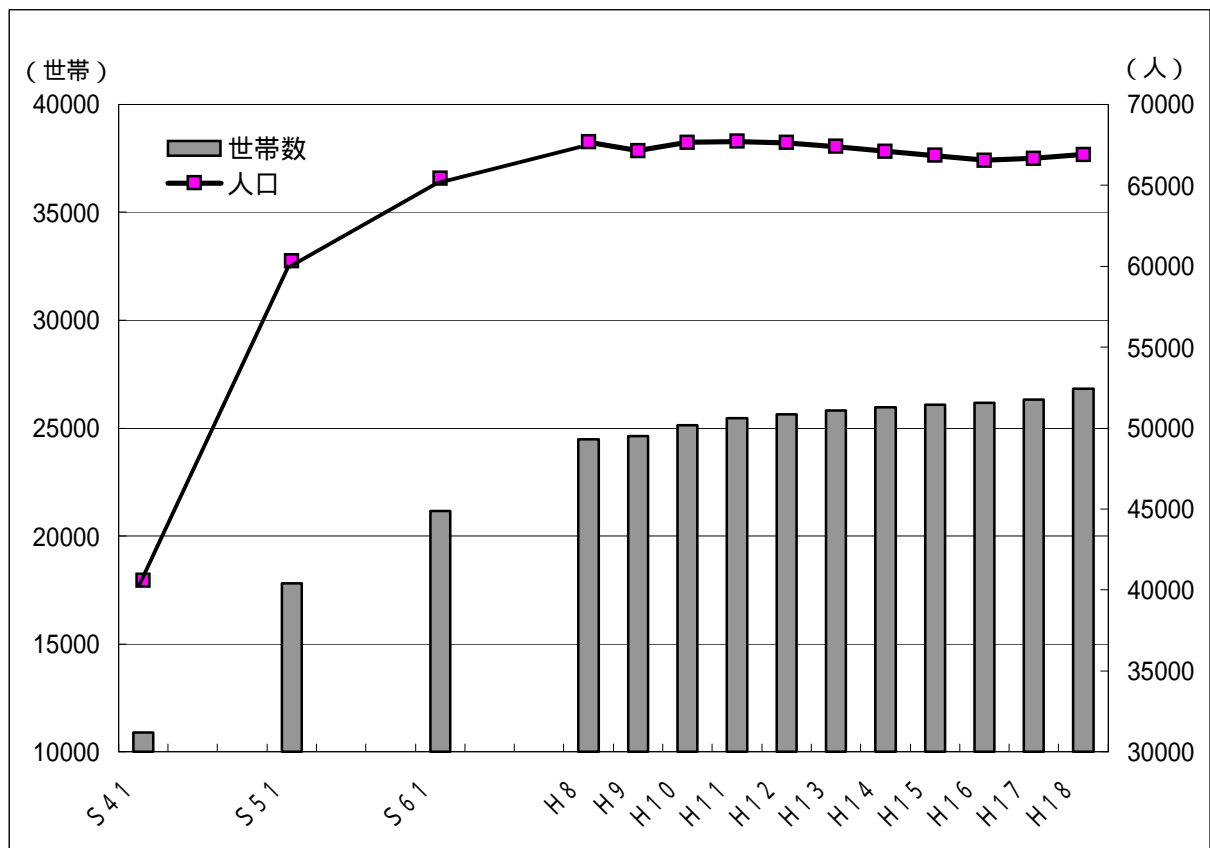
資料1 - 2 河川、水路図



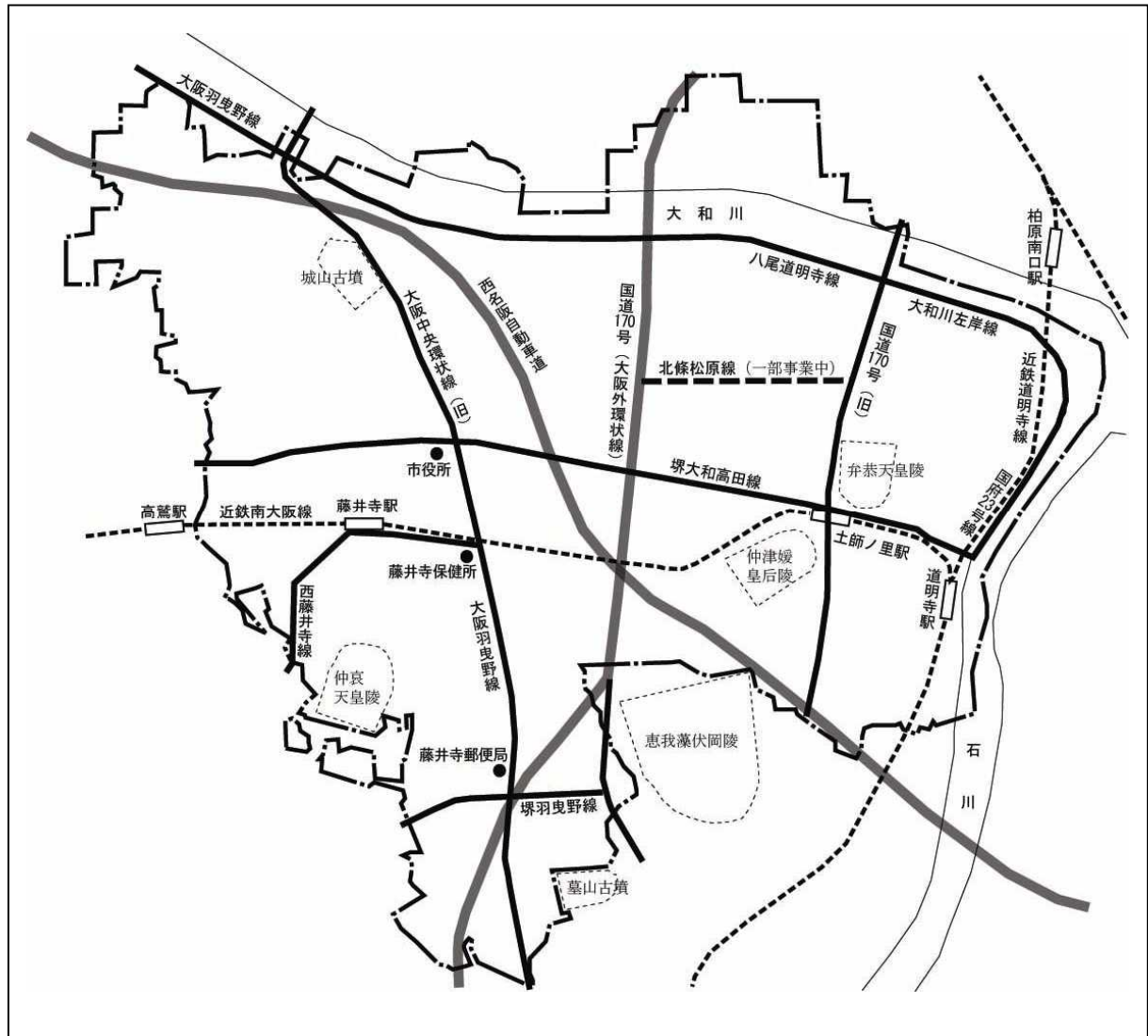
資料1 - 3 人口、世帯数の推移

	世帯数	人 口		
		総人口	男	女
昭和41年	10,909	40,594	19,974	20,620
・	・	・	・	・
昭和51年	17,807	60,310	29,871	30,439
・	・	・	・	・
昭和61年	21,169	65,440	32,133	33,307
・	・	・	・	・
平成8年	24,494	67,374	32,620	34,754
平成9年	24,634	67,124	32,467	34,657
平成10年	25,143	67,653	32,658	34,995
平成11年	25,464	67,714	32,641	35,073
平成12年	25,635	67,635	32,620	35,015
平成13年	25,820	67,381	32,515	34,866
平成14年	25,958	67,085	32,326	34,759
平成15年	26,087	66,828	32,215	34,613
平成16年	26,182	66,535	32,023	34,512
平成17年	26,482	66,656	32,017	34,639
平成18年	26,831	66,898	32,050	34,848

注) 本表の世帯数・人口は、登録人口(住民基本台帳+外国人登録人口)  
各年9月末現在(昭和41年のみ10月末現在)



資料1 - 4 都市構造図



資料1 - 5 商業の概要

(平成16年6月1日現在)

区 分	平成6年	平成16年	増減数	増減率
商店 総数	978	820	158	16.2%
卸売業	114	97	17	14.9%
(店) 小売業	864	723	141	16.3%
従業者数 総数	5,010	5,000	10	0.2%
卸売業	701	794	93	13.3%
(人) 小売業	4,309	4,206	103	2.4%
年間 総数	11,610,469	10,869,595	740,874	6.4%
販売額 卸売業	3,574,364	4,590,688	1,016,324	28.4%
(万円) 小売業	8,036,105	6,278,907	1,757,198	21.9%

出典：大阪府企画調整部統計課「大阪の商業」

資料1 - 6 工業の概要

(平成16年12月31日現在)

区 分	重工業	軽工業	化学工業	その他	合 計
事業所数 (事業所数)	51	39	22	8	120
(%)	42.5%	32.5%	18.3%	6.7%	100.0%
従業者数 (人)	623	1,894	687	96	3,300
(%)	18.9%	57.4%	20.8%	2.9%	100.0%
製造品 (億円)	98	169	139	11	430
出荷額 (%)	22.8%	39.3%	32.3%	2.6%	100.0%

出典：大阪府企画調整部統計課「工業統計調査結果表」

資料1 - 7 農業の概要

(平成17年2月1日現在)

	平成7年	平成17年	増減数	増減率
農家数(戸)	300	219	81	27.0%
耕地面積(ha)	69	49	20	29.0%

出典：大阪府企画調整部統計課「2005年農業センサス」

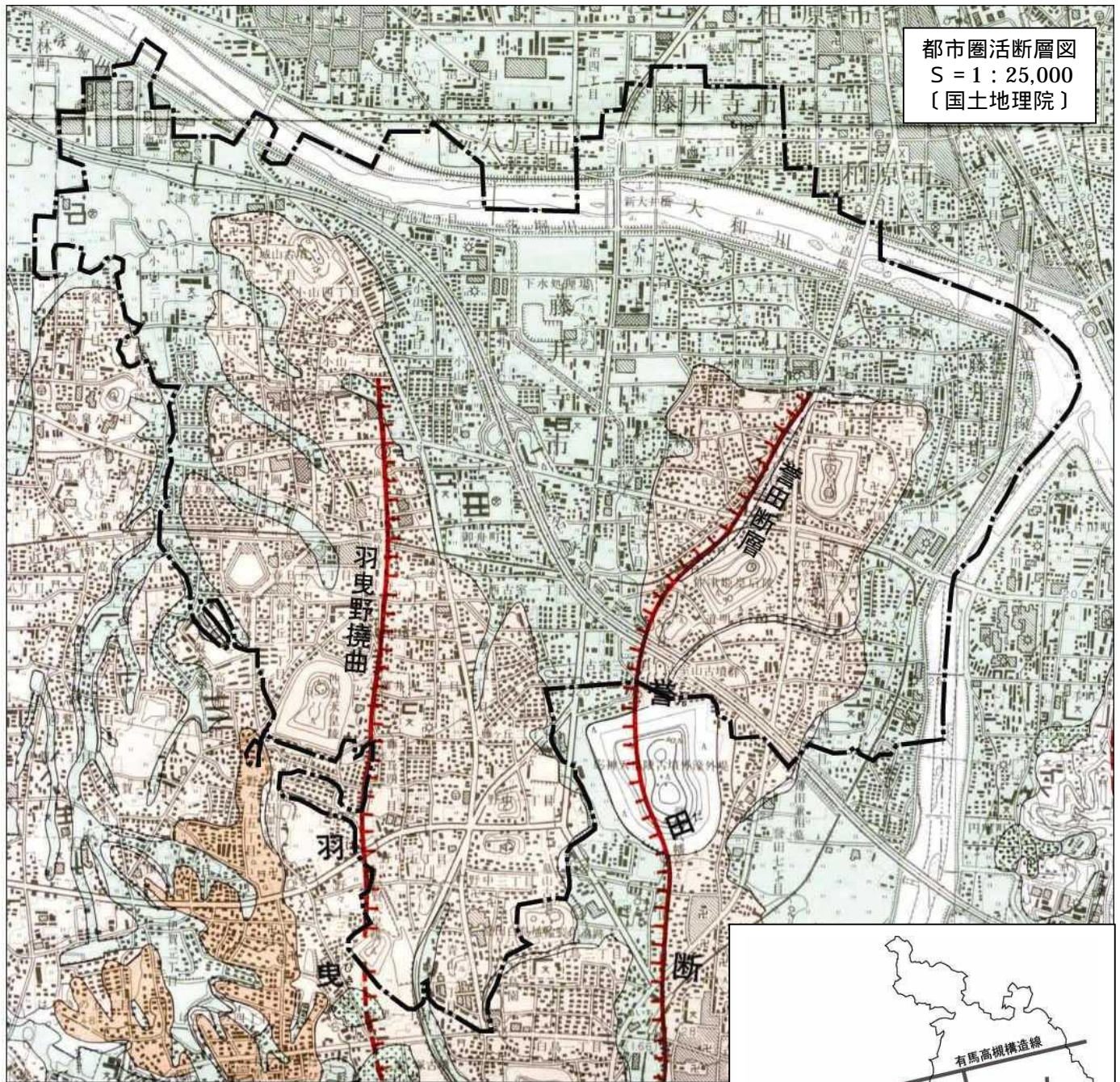
資料1 - 8 大阪府の地震被害想定結果一覧表

(藤井寺市分)

		上町断層帯 地震 A (府 の北中部で 揺れ大)	上町断層帯 地震 B (府 の南部で揺 れ大)	生駒断層帯 地震	有馬高槻断 層帯地震	中央構造線 断層帯地震	東南海・南 海地震
地震動	マグニチュード	7.5~7.8	7.5~7.8	7.3~7.7	7.3~7.7	7.7~8.1	7.9~8.6
	計測震度	6弱~7	6弱~7	6弱~6強	5弱~5強	5強~6強	5弱~6弱
建物被害	全壊棟数	2,931棟	3,800棟	4,568棟	8棟	1,101棟	96棟
	半壊棟数	3,335棟	4,054棟	4,667棟	17棟	1,826棟	231棟
地震火災	炎上出火(3日 間夕刻)	3件	4件	5件	0件	1件	0件
	炎上出火(1日 間夕刻)	2件	3件	4件	0件	1件	0件
人的被害	死者数(超過 確率1%風速 の夕刻)	31人	81人	52人	0人	4人	0人
	負傷者数(超 過確率1%風 速の夕刻)	696人	1,019人	837人	3人	448人	50人
罹災者数		18,455人	25,720人	27,589人	59人	8,531人	684人
避難所生活者数		5,352人	7,459人	8,001人	18人	2,474人	199人
ライフライン	電力(停電軒 数)	15,181軒	15,579軒	19,106軒	98軒	3,037軒	294軒
	ガス(供給停 止戸数)	29千戸	3千戸	29千戸	0千戸	0千戸	0千戸
	水道(断水率)	43.7%	48.3%	64.6%	1.2%	41.1%	5.4%
	水道(断水人 口)	29千人	32千人	43千人	1千人	27千人	4千人
	通信(固定電 話の被災回 線)	20,628回線	20,628回線	20,628回線	153回線	2,750回線	0回線
震災廃棄 物発生量	可燃物	74千トン	112千トン	112千トン	0千トン	32千トン	3千トン
	不燃物	242千トン	344千トン	352千トン	1千トン	99千トン	11千トン

(出典：大阪府地震被害想定調査報告書より抜粋)

資料1 - 9 断層位置図



活断層  
Active Fault Trace



最近数十万年間に、概ね千年から数万年の周期で繰り返し動いてきた跡が地形に現れ、今後も活動を繰り返すと考えられる断層。明瞭な地形的証拠から位置が特定できるもの。

縦ずれ  
Dip Slip



活断層の上下方向の変位の向き。相対的に低下している側に短線を付す。

中位段丘面  
Middle Terrace



海または河川的作用で形成された平坦地が、約十萬～数千年前に陸化した台地面。

下位段丘面  
Lower Terrace



海または河川的作用で形成された平坦地が、約数万～数千年前に陸化した台地面。

沖積低地  
Alluvial Lowland



数千年前から歴史時代にかけて、海または河川的作用で形成された平坦地。地下に未発見の断層が存在する可能性もある。

